

2018.08.03 原田作成

第34回水郷水都全国会議・霞ヶ浦大会 第2回実行委員会資料

日時：2018年8月4日(月)14:00-16:00(予定)

場所：奥井薬局図書室

出席予定者：荒井 一美、菊地 章雄、額賀 勝男、栗又 衛、原田 泰、浜田 篤信、
岩崎 惇子、奥井 登美子

議事予定：

1. 前回議事録(2018.7.15 第1回実行委員会)確認

(報告事項)

2. 実行委員

(検討事項)

3. 見学会

4. 懇親会

5. 会場

6. 全体会，分科会の構成

7. 開催要領

8. 大会資料の準備

9. 予算

(その他)

10. その他

資料：

1. 前回議事録(2018.07.15)第1回実行委員会 (別紙1)

2. 実行委員

(2018.07.15)

実行委員長	荒井一美				
事務局長	原田 泰				
委員	石田 幸彦	岩崎 惇子	奥井 登美子	柏村忠志	菊地 章雄
	栗又 衛	額賀 勝男	濱田 篤信	宮本 一美	森 保文

会計担当：菊地章雄

3. 見学会 (2018年10月13日(土)) 13:00-17:00 (別紙2 地図) 菊地

マイクロバス2台，あるいは大型バス1台を使用。参加人数50人，参加費3,000円で見積もる。(2013年のときは57名参加，3000円)

4. 懇親会 (2018年10月13日(土) 18:00-20:00) ホテルマロウド筑波

参加費5,000円予定。(2013年は44名，5000円)

5. 会場(2018.10.14(日)) 茨城県県南生涯学習センター (029-826-1101)

- ・中講座室1(100名)：全体会，分科会1
- ・小講座室1(54名)：分科会2
- ・小講座室3(18名)：事務局，控室

6. 全体会，分科会の構成(2018年10月14日(日) 9:00-15:30) 参加費2000円予定)

9:00	開場	
9:30	開会, 実行委員長あいさつ	
9:45-12:00	全体会(2時間 15分)「水郷水都全国会議 34年の活動とこれからの方向性」	
	・問題提起(20分×3=1時間)	
	・34年の総括	浅野敏久
	・成果と課題	保母武彦
	・地域から見た問題	荒井一美
	・論点の整理1(司会)(10分)	
	・会場討論(1時間)	
	・論点の整理2(司会)(5分)	
12:00-13:00	昼食休憩	
13:00-15:00	分科会 (2時間)	
	①水郷水都運動のこれから	
	②各地からの報告	
15:00-15:30	全体会	
	・まとめ (10分)	
	・大会宣言 (5分)	
	・次回開催地の紹介 (5分)	
	・閉会	

7. 開催要領, 申込用紙 (別紙3)

8/4	開催要領案検討
8/10	原稿完成→印刷 ウェブ公開, 参加募集開始(会議, 見学会, 懇親会, 分科会報告)
8/20	印刷終了, 受けとり
8/25	発送

8. 大会資料の準備

A4 60ページ 目安

(表紙)第34回水郷水都全国会議・霞ヶ浦大会	大会資料集
(目次)	
(1)	大会開催要領(プログラム, 開催趣旨, 実施要領)
(2)	水郷水都全国会議34年の活動とこれからの方向性
	・趣旨
	・講演要旨
	・浅野敏久
	・保母武彦
	・荒井一美
(3)	分科会
	第1分科会
	・発表要旨
	第2分科会
	・発表要旨
(4)	水郷水都全国会議総会資料
	・活動報告, 活動方針, 全国会議の紹介
(5)	協賛広告
(裏表紙)	

大会資料作成スケジュール

8/4 企画
 8/20-9/20 基調講演原稿依頼
 分科会報告募集
 (9/9 第3回実行委員会)
 9/20-30 編集
 10/1 印刷 10/7 受けとり
 (10/8 第4回実行委員会)
 10/14 配布

- ・原稿依頼 (執筆者, 分量, 期限)
- ・編集
- ・印刷 (第29回はプリントパック, 荒井担当)

(第29回の場合)	88,150 円	
資料集 (66 ページ) 300 部		65,800 円
要領 2000 部		9,600 円
申込書 2000 部		2,870 円
ポスター 200 部		4,090 円
チラシ		5,790 円
	(合計)	88,150 円

9. 予算
 2018.08.04 概算見積り

収入の部

科目	予算額	備 考
参加費	200,000	2,000 × 100
現地見学	150,000	3,000 × 50
交流会	300,000	5,000 × 60
協賛金	50,000	10,000 × 5
その他	0	
計	700,000	

支出の部

科目	予算額	備 考
運営費	50,000	会議費、事務用品、弁当、交通費
会場設営費	50,000	26,720(中1)+16,910(小1)+6,200(小3)=49,830
印刷費	100,000	開催要領 1,000 部、大会資料集 200 部
通信費	100,000	大会案内送付他
現地見学費	150,000	バス借上げ、入館料
交流会費	250,000	
報償費	0	(講師謝礼)
その他	0	
計	700,000	

10. 当面のスケジュール

8/4(土) 第2回実行委員会 (本日)
 8/10 開催要領原稿完成→印刷へ
 8/20 開催要領印刷終了,受けとり→発送
 基調講演,原稿依頼(~9/20)
 9/9(日) 第3回実行委員会

(別紙 1)

2018.07.16 原田作成

第 34 回水郷水都全国会議・霞ヶ浦大会 第 1 回実行委員会議事録(案)

日時：2018年7月15日(日)14:00-16:30

場所：奥井薬局図書室

出席者：荒井 一美、菊地 章雄、宮本 一美、額賀 勝男、栗又 衛、原田 泰、浜田 篤信、岩崎 惇子、奥井 登美子

(1) 前回議事録確認

資料に基づき、前回(2018年6月16日第1回準備会)の議事録を確認した。

(2) 実行委員会の発足

① 実行委員の選出

資料に基づき、実行委員候補者を確認して、発足時の実行委員を選出した。

発足時実行委員は以下の12名である。

第1回準備会出席者6名：荒井一美、宮本一美、菊地章雄、額賀勝男、栗又衛、原田泰

前回(2013年)実行委員4名：岩崎惇子、奥井登美子、柏村忠志、森保文、濱田篤信

全国実行委員会1名：石田幸彦

前回実行委員のうち市川紀行、岩波嶺雄は荒井が確認をする。

② 役員の選出

実行委員より以下の役員を互選した。

実行委員長：荒井一美

事務局長：原田泰

会計：菊地章雄

その他の役割分担は次回決めることになった。

以上より2018年7月15日(日)、第34回霞ヶ浦大会の現地実行委員会が発足した。

③ 事務局連絡先

事務局連絡先は事務局長の自宅とする。

〒305-0061 茨城県つくば市稲荷前24-22 原田 泰 気付

電話 029-855-2752、携帯 080-5539-5874

電子メール：34sui-sui-info@k-academy.sakura.ne.jp

③ 実行委員会会則

前回(2013年)作成した実行委員会会則を一部改定して用いる。

(3) 口座の確認

ゆうちょ銀行の振替口座は霞ヶ浦アカデミーのもの、常陽銀行の普通預金口座は前回(2013年)に開設したものをを用いることとした。

・常陽銀行：普通、1381609「スイロウスイカスガウラタイイ ハマダ アツブ」

- ・郵便振替口座：00150-7-447640「特定非営利活動法人霞ヶ浦アカデミー」通帳、印鑑は会計担当の菊地が管理をする。

(4) メーリングリスト等について

① メーリングリスト

実行委員会の情報交換のためにメーリングリスト：34sui-sui@k-academy.sakura.ne.jp を開設した。2018年6月19日より運用している。実行委員及び希望者を登録する。添付ファイル200Mまで。

② 事務局メールアドレス

外部からの問い合わせなどを受けるため事務局メールアドレスを開設した。34sui-sui-info@k-academy.sakura.ne.jp である。実行委員のうち希望者が共同で受け取るようにする。

③ ウェブページ

34回大会の情報提供は水郷水都全国会議のサイトを用いる。
<http://www.sui-sui@sakura.ne.jp>
参加受付開始時にオンライン参加申込みのページも開設する。

(5) 開催概要

準備会(2018.6.16)の議論をもとに作成された開催概要案について検討した。

① メインテーマ、サブテーマ

メインテーマとサブテーマは以下の通りとする。
「水郷水都全国会議のこれから一語り合おう、全国のカップパたち」

② 開催趣旨

水郷水都全国会議は世界湖沼環境会議(1984年、滋賀県琵琶湖)を契機に結成され、第1回大会は1985年宍道湖畔の島根県松江市で、第2回大会は茨城県の霞ヶ浦で開催されました。

水郷水都全国会議はその後、持続可能な水社会を地域から再生させる実践事例と理念を交換して実現をめざすことと、中央集権的な全国一律の水資源管理の問題点を指摘、解析して地域で起こっている理不尽な開発事業をやめさせ、地域自立型の水管理を示すことの2つを大きなテーマに日本の各地で開催されてきました。

今年10月15日から19日に水郷水都全国会議の出発点である第17回世界湖沼会議がつくば市で開催されるのに合わせてその前日(10月13、14日)に、これまでの活動の成果と課題を振り返り今後の方向を議論することを目的に第34回水郷水都全国会議・霞ヶ浦大会を同じつくば市で開催することに決めました。世界湖沼会議では水郷水都全国会議の活動を報告すると共にワークショップ(10月16日夜)を開催して、世界の仲間たちと共に水環境を守る市民の活動について交流します。

第34回水郷水都全国会議・霞ヶ浦大会が、全国から多くの皆様が参加し、日頃の活動を伝えあい、将来に希望の持てる水郷・水都づくり運動を大きく発展させる機会となれば幸いです。全国と地元から、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

大要は了承されたが、文章の細かい表現など修正して次回決定することとした。

③ 会場

当初筑波大学を会場とすることにして仮予約までおこなったが、使用料が高く分科会が開催できないなどの問題があり、土浦駅前の茨城県県南生涯学習センターの会議室を使用する案が出され、了承された。筑波大学は仮予約を解約する。

現在 100 名と 54 名の講座室を仮予約しているが、もうひとつ小さい部屋が必要と野意見があり、再度確認することとなった。(2013 年の時は 120 名参加費 2000 円)
(金額は 9:00-17:00、参加料徴収の場合)
中講座室 1 (100 名) (26,720 円)
小講座室 1 (54 名) (16,910 円)
小講座室 3 (18 名) (6,200 円)
(合計 49,830 円)

茨城県県南生涯学習センター (029-826-1101)
茨城県土浦市大和町 9-1 ウララビル 5 階 (JR 常磐線土浦駅西口から徒歩 1 分)
ペDESTリアンデッキで駅から直結)
<http://www.kennan.gakusyu.ibk.ed.jp>

④見学会

準備会に提出された資料をもとに検討した結果、次のコースとなった。

2018 年 10 月 13 日 (土) 13:00 土浦駅出発 ・霞ヶ浦郷土歴史資料館 (館内見学, 霞ヶ浦遠望) ・高須の一本松 ・霞ヶ浦湖岸, 植生帯復元 ・白菊酒造 (石岡市) 16:30 土浦駅着 (または 17:00 懇親会会場)

レンコン栽培, 蓮田, 佃煮工場などの意見があり, 次回までに見積を出して再度検討することとなった。

マイクロバス 2 台, あるいは大型バス 1 台を使用。参加人数 50 人, 参加費 3,000 円で見積もる。(2013 年のときは 57 名参加, 3000 円)

⑤懇親会

会場はホテルマロウド筑波を候補に検討することとなった。全国実行委員会の会場, 10 名程度の宿泊予約も検討する。参加費 5,000 円を想定する。(2013 年は 44 名, 5000 円)

10 月 13 日 (土) 18:00 懇親会 20:00 全国実行委員会

⑥本会議

会場は茨城県県南生涯学習センター, 9:00-15:30, 参加費 2000 円を想定する。

10 月 14 日 (日) 9:00 開場 9:30 開会, 実行委員長あいさつ 9:45-12:00 全体会: 基調講演 (浅野, 保母, 荒井), 質疑 12:00-13:00 昼食休憩 13:00-15:00 分科会 (①水郷水都運動のこれから, ②各地からの報告) 15:00-15:30 全体会: まとめ, 大会宣言

午前中は全国会議の総括 (浅野のまとめをもとにする), 現状と今後 (保母の問題提起), 地域からの課題 (荒井) の講演, 発表のあと全員で議論を行う。午後は水郷水都運動のこれからのに関する分科会 (拡大全国実行委員会に相当) と各地からの報告の分科会の 2 つを設け

る。基調講演については浅野，保母と相談する。

土浦市内で食堂など多いので，昼食は各自取ることにして弁当の手配は行わない。

⑦後援

後援は寄付依頼と関係するが，今回は寄付は重視しないこととする。自治体など個別に廻って後援依頼を行う必要がある。

⑧関連イベント

10月21日(土)に開催される横浜縦断カヌーフェスティバルを関連イベントとして，チラシ，ポスター，要旨集などに記載する。

(6) 今後のスケジュール

以下の予定，スケジュールを確認した。

①実行委員会の開催予定

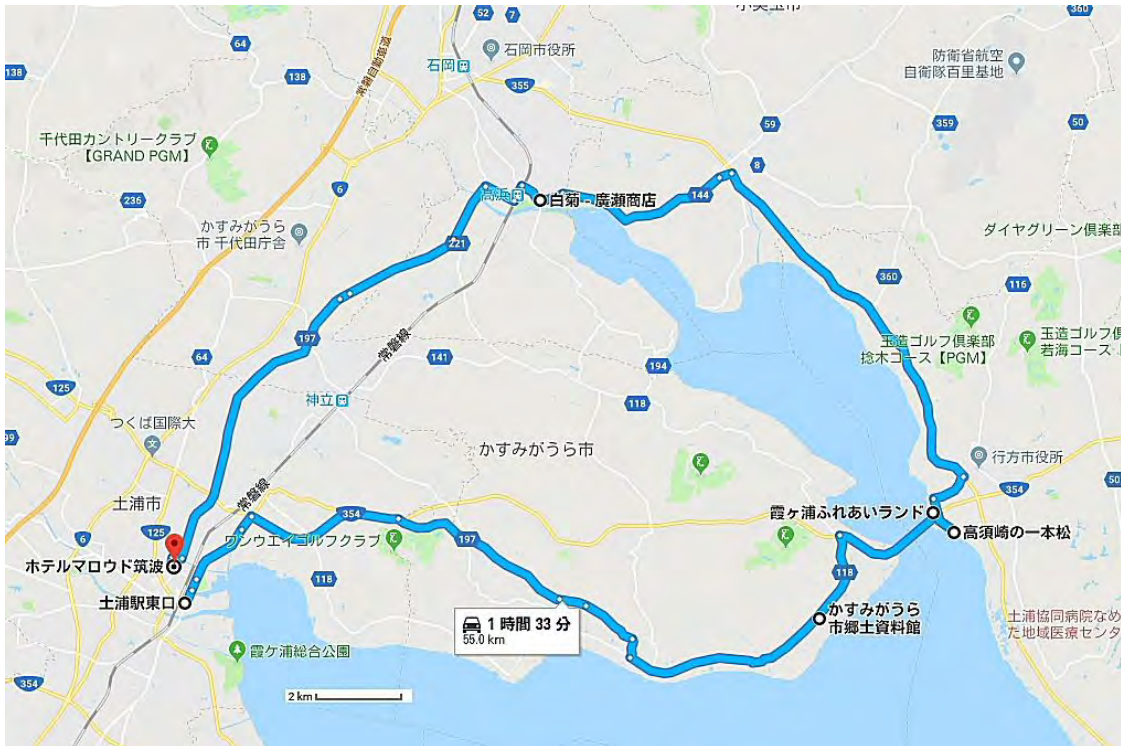
- ・第2回実行委員会 8月4日(土) 14:00 奥井薬局図書室
- ・第3回実行委員会 9月9日(日) 14:00 奥井薬局図書室
- ・第4回実行委員会 10月8日(月) 14:00 奥井薬局図書室

②工程表

月	内容
7月	<u>7月15日(日) 第1回実行委員会</u> 実行委員確定，実行委員会設立
8月	<u>8月4日(土) 第2回実行委員会</u> ・開催要領確定 ・見学会，懇親会，基調講演，詳細検討 ・予算，資金計画策定 <u>8月中旬</u> 開催要領，参加申込書印刷 → 送付 参加申込み開始 <u>8月末</u> 大会資料原稿依頼，分科会報告募集
9月	<u>9月9日(日) 第3回実行委員会 (約1ヶ月前)</u> ・実施詳細確認，受付，全体会・分科会進行など当日分担決定 ・大会資料編集開始，資料印刷依頼 ・大会宣言の検討
10月	<u>10月8日(月) (5日前) 第4回実行委員会</u> 大会資料完成，見学会資料完成，交流会参加人数確認 10月13日(土)見学会，交流会，全国実行委員会 10月14日(日)全体会，分科会，大会宣言採択 10月15日(月)第17回世界湖沼会議開会(つくば国際会議場) 10月16日(火)18:00-20:00 ワークショップ「水辺の環境と社会を守る市民の活動に関する情報とアイデアを交換しましょう」
11月	<u>11月15日頃 第5回実行委員会</u> まとめ，会計整理

(以上)

(別紙 2) 見学会コースについて



- (1) 土浦駅東口 出発 13:00
土浦駅東口 → かすみがうら市歴史博物館 (移動時間約 30 分)
 - (2) かすみがうら市歴史博物館 13:30-14:00
かすみがうら市歴史博物館 (滞在時間 30 分)
かすみがうら市歴史博物館 → ふれあいランド虹の塔 (移動時間約 8 分)
 - (3) ふれあいランド虹の塔 14:10-14:30
ふれあいランド虹の塔 (滞在時間 20 分)
ふれあいランド虹の塔 → 高須の 1 本松 (移動時間 5 分)
 - (4) 高須の 1 本松 14:35-14:55
高須の 1 本松 (滞在時間 20 分)
高須の 1 本松 → 植生帯復元地 (堤防沿いなのでバスが入れるか: 下車しないで経由だけは可能か) → 白菊酒造 (移動時間 30 分)
 - (5) 白菊酒造 15:30-16:00
白菊酒造 (滞在時間 30 分)
白菊酒造 → ホテルマロード (移動時間 30 分)
 - (6) ホテルマロード 到着 16:30
- (上記時間は googleMAP をもとに算出し計 203 分、大人数で移動するため + α を想定する)

2. 見学場所の説明

・ かすみがうら市歴史博物館

4階建ての城郭型博物館。

帆引き船の模型（2/3スケール）をメインに、当時の漁船で使用されていた道具、かすみがうら市の人々の暮らしを支えてきた漁業・農業に関わる民俗資料を展示。4階は展望台（一般団体150円、小人団体50円）

HP：<https://www.city.kasumigaura.lg.jp/page/dir003355.html>

・ ふれあいランド虹の塔

霞ヶ浦ふれあいランドのシンボルタワー。

高さ60メートル、360度のパノラマ（一般団体250円、小人団体150円）

HP：<http://www.city.namegata.ibaraki.jp/page/page000687.html>

・ 高須の一本松

鎌倉の鶴岡八幡宮の大銀杏と並んで関東二大銘木と言われていた。現在3代目の松（額賀さんに家の向かいに位置しており、一本松の説明および、当時大水の時の様子などを額賀さんにお話しただけならと考えております）

<http://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/243925>

・ 植生帯復元

県が作った植生帯の復元地域。濱田氏設計。バスが入れれば、護岸沿いを少し通って、解説を頂けたらと思っています。

<https://www.google.co.jp/maps/@36.1265475,140.3925289,3a,60y,286.24h,70.66t/data=!3m6!1e1!3m4!1sXPNSKRwn7yYSvItINC5QwA!2e0!7i13312!8i6656>

・ 白菊酒造

石岡市の造り酒屋。

文化二年（一八〇五年）創業。1805年（文化2年）石岡市高浜で創業。

代表銘柄の「白菊」の他に「紅梅一輪」「霞の里」等を発売。

平成21年には「第一回生物多様性日本アワード」にてNPO法人アサザ基金、田中酒造店とともにグランプリを受賞。

HP：<https://shiragiku-sake.jp/>